

胃腸を強くせよ

虎列拉に斯くぞるに足らず

總務局長 芳賀醫學博士の談

▲虎列拉に斯くぞるに足らず
虎列拉は、胃腸の弱さから生ずるものである。胃腸が弱ると、食物を消化できず、栄養が不足し、抵抗力が低下する。その結果、虎列拉に感染しやすくなる。胃腸を強くすることは、虎列拉を予防する最も効果的な方法である。

▲虎列拉の時期
虎列拉は、夏から秋にかけて流行する。この時期には、注意を払って、清潔な食事を摂ることが大切である。

▲虎列拉の予防
虎列拉を予防するためには、清潔な食事を摂ること、生水を飲まないこと、排泄物を適切に処理することなどが重要である。

満洲 秋季機動演習

長春附近に於て觀式舉行

▲秋季機動演習
長春附近に於て觀式舉行
満洲軍は、本年の秋季機動演習を、長春附近に於て觀式舉行した。演習は、九月九日から開始され、満洲軍の機動能力を十分に発揮した。觀式には、満洲軍の高級幹部が参加した。

仁川は眞性と決定

井戸の封鎖と上水の開放

▲仁川は眞性と決定
井戸の封鎖と上水の開放
仁川市は、虎列拉の発生を防止するため、井戸の封鎖と上水の開放を決定した。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

各地虎疫

三千浦 慶尚道三千浦

▲各地虎疫
三千浦 慶尚道三千浦
各地で虎疫が発生している。特に、三千浦、慶尚道三千浦などで発生している。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

梨と水蜜桃から

仁川の虎列拉の発生系統

▲梨と水蜜桃から
仁川の虎列拉の発生系統
仁川市は、虎列拉の発生系統を調査した。その結果、梨と水蜜桃から発生していることがわかった。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

列車に警員乗

込の上警戒

▲列車に警員乗
込の上警戒
列車には、警員が乗務している。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

係員總出で仁川山検査所

神仙臺の第一號停留室落成

▲係員總出で仁川山検査所
神仙臺の第一號停留室落成
仁川市は、虎列拉の発生を防止するため、係員を總出で仁川山検査所に派遣した。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

學校は何うする乎

萬一の場合は斷然たる處置をこる

▲學校は何うする乎
萬一の場合は斷然たる處置をこる
學校では、虎列拉の発生を防止するための措置を講じている。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

飛行中尉の惨死

十八日午前所澤飛行場の惨事

▲飛行中尉の惨死
十八日午前所澤飛行場の惨事
飛行中尉が、十八日午前所澤飛行場で惨死した。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

國賊兵曹判決

讀者文藝 (一)

▲國賊兵曹判決
讀者文藝 (一)
國賊兵曹が判決を受けた。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

須摩丸に發生

門司に停船中

▲須摩丸に發生
門司に停船中
須摩丸に虎列拉が発生した。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

全鮮の檢疫勵行

仁川本町二丁目

▲全鮮の檢疫勵行
仁川本町二丁目
全鮮で檢疫が勵行されている。これは、虎列拉の発生を防止するための重要な措置である。

クラス萬手筆

朝鮮總代理店

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

肥料部

に至る間に於て眞一組都合四組を組織し數十名の

の必要を認めざるが如くは今の清國の模倣如何によりては實行するに當るべきが目下にては交通進斷區域内の實地考察の計畫は暫延に出張せる係官に傳達を請ふべくその附近より發見は尙重なる消滅の上之を受ける

天皇、皇后兩陛下遊幸御見合は
諸侯出でられたるは既電の如くなつた

恐懼に堪へず

陰惨な空氣は可なりには不潔な村一杯に立響てゐる、行灰で

續々發生に就き府廳にては

虎、癸亥生以來、川原の繁信は實に堪
だしく、殆んどその防戩その他に不眠
不休の情懷なるが十九日より京橋上
り、腰拔して、巡査及び隣附數名派遣
し、其後、

眞白になつた明の廻りから不潔飯の
臭ひがブン／＼鼻を衝いてくるのは
随分不快だが、その中を駆け歩いてゐ

車中仁川

査を行ひ居れるが猶又仁用權樹の辭職
 は「川柳」より「新聞」醫師一名は「札」
 に出で服各縣省に就き新洲なる「醫館」
 を爲しつゝありて京方方面への虎列
 々を爲す所を「新洲」に於てあり

には此の部署「運火船」になつたといふ
 なるに應じし「國庫」であるといはねば
 ならぬ此處から仁用醫師の「樹友」事
 所へ行くといふ種々の

◇試験管の中

には「氣味」の要
 素を「試験管」の中

消毒班の

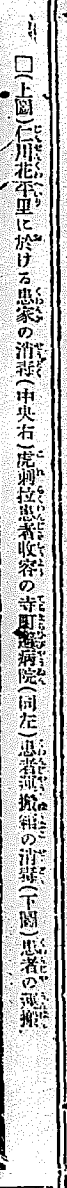
發生部^{よけぶ}落^{おち}を觀察^{くわんさつ}するの記^き
 を横切^{よこぎ}つて二三^{さん}の花^{はな}半里^{はんり}と其處^{そのところ}か
 ら更に五六^{ごろう}丁^{てい}先の松^{しょう}隈^{かみ}里^りといふ鄙^{しん}人^{にん}
 ぞ微役^{みえき}で細道^{せみち}直檢^{ちくけん}査^さをしたと言^いひ所屬^{しよじゆく}
 雖^{いえ}れも血脈^{けつみく}でやつてゐる。水產^{すいさん}組^{ぐみ}合^{がひ}
 に行^いくぞ事務員^{しむぎん}は言^いふ。仁川^{にんせん}の魚^{うしよ}担^{たん}

白い消毒衣せうどくいを着けた冬ふゆ

花平里では既に五名の死傷者を出したといふので、所々鐵線を張つて交通を遮斷するの附近には必ず二、三名の巡邏兵が固めてゐる。患處の周圍には石灰炭酸が一面に撒布されてゐる、附近した護川下流から來る漁船には皆

◇漁船は仁仲 附近のはかみ

で日々四五隻宛市場に水揚げする。仁仲以外の地から漁船の來る事は、この條條上から、市に皆無に、漁船の如き



運したるも最早や終熄に近き

ものゝ如し、**宣**は十一日、**以來虎**
生を見ず、**初發以來二十三名の患**
出したるが、**内十四名は死にせり**
(長崎新聞)

大財相になる

版にては昨年來各町に於り金品の
離類々として起るより所轄本間
署にては専ら犯人の檢舉に努め
結果遂に檢舉することを得たり

宮内省出入證人

は、御膳取、拔等に關し一層注意を加ふるため相當の目録を

り承^{うけたま}はる(東京特電)

賢(けん)澤(たく)なる生(せい)活(くわく)をなしめ

五日永樂町二丁目荒谷某方に忍

を附近の質屋に入質したるより、
つき早くも風を喰つて釜山に逃
を遂に本町釜山兩署の刑事に取
られて本町署に押送されたるに
對べの未昨年十二月十七日夜若

み現金二十七圓衣類十點(百餘圓)
 所収したるを手初めに同年十二

九日夜は西小門町大留某方にて
四圍の金品、本年三月廿二日夜
太平通二丁目小野某方

一千數百圓に達する現金を盗取し、贓物は他の地方に持行

處分し、尙外一箇所にては詐欺を
巧に姿を晦ましむたること判明
尙ほ同人は大正二年中旅順裁判
で窃盗罪に依り懲役一年の處分
けたる前科ある大賊なりと

川察署にては虎刺拉病豫防に照

示達したり(仁川)
 又、下瀬を起したる時は速に醫館の
 醫術を授け、貧民は勿論食物は成る可く不
 足は憂くる事

飲食物及び飲食用器具には、**細菌**の附著

様出立をなさる事
 縁の盡除を圖る事
 未だ腐敗の果實は他の不良條を摘むに堪へず
 此所及び並留其他不潔の場所は時々掃除

川瀬順輔氏之釜山 尺八界古流の
瀬順輔氏は二十日大邸にて 初公會を罷し

日本米業有志の發起により二十三日
大演会を催す事により居る由

女一通の嗜は

世界はさう細くのびて

女紅場の三百人

校舎は二階建てで階上の二

其場に充てられ、陛下は中御門及び幕僚等に
御礼となすたむの各様の御妙は早朝から恩

句ひが鼻を衝く大座の教士を覗いて見る

然が吸き込まれて溜（たま）りて塵（ちり）に序（し）つて痰（たん）勝（か）つて
 式の垢（か）まるのを待（まち）つてゐた。室（むろ）の一隅（ひとすみ）には
 塵（ちり）が溜（たま）りて學校（がく）らしい氣分（きぶん）が沐（も）ふて

最といふ、賭博まで思ひ入りの装束はハイ
島田、桃割、盤子返しなど見渡したとこ

部局長代理で 西脇視が

實^{じつ}が正^{せい}面^{めん}に著^{しやく}席^{せき}し側^{そく}面^{めん}には女^{にょ}紅^{こう}堀^け
末^{すゑ}流^{りゅう}水^{すい}、田^{でん}荷^{かり}秀^{しゅう}子^この兩^{りやう}氏^し初^{はつ}め

堀場 取締安川伊吉氏以下評議員各
 人等参列するや安川取締の式辭が
 次いで宮前署長は起つて「各

就ては折角多額の金を

して建設した女紅塲の實成績を發
するに否と雖は區に生徒たる娼妓の
掛けにある事だから、他日

◇一家の主婦　たり母となり

社會の者から彼れ前身が娼妓であつ

[illegible]

